学校番号	218

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	ビジュアル デザイン	単位 数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインとは、簡単に言えば、目的に合わせて何かを作ることです。なので、世の中のあらゆる人が作ったものはデザインされたものだと言えます。この授業では、身近にある様々なデザインを改めて鑑賞しながら、いくつもの分野のデザイン作品を実際に制作していきます。おそらくその過程で、身のまわりのあらゆるところにデザインがあることを、実感をもって理解できると思います。

この授業を受けて、生活の様々な場面にあるデザインに興味を持ち、そこに隠れた意図、工夫や技術を感じ取り、さらに、自分だったらどんなふうにデザインして、人生をより便利に楽しくできるかを想像するようになっていてくれればとても嬉しいです。

2　学習の到達目標

（１）視覚情報伝達を主とするデザインの創造的な表現と鑑賞の能力を高める学習を通して、表現の目的に合致した創造活動をする技能を身につける。
（２）視覚情報伝達を主とするデザインの創造的な表現と鑑賞の能力を高める活動を通して、作品の良さや美しさを感受し、自らの意図に基づいて工夫しながら制作する過程を学ぶ。
（３）創造的な表現と鑑賞の能力を高める学習をする中で、美術やデザインを代表とする様々な人間の営みや自然の在り方から豊かな美的体験を得られる感性を引き出すとともに、主体的かつ自覚的に文化の発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・様々なデザインやデザインを主とする美術文化への理解を幅広く理解している。 ・表現の目的に合致した創造活動をするために必要な感覚・知識・技能を見につけ、表現している。	・目的や伝達機能を元に想像力を駆使して発想し、個性豊かな表現の構想を練っている。 ・作品の良さや美しさを感受し、自らの意図に基づいて工夫しながら制作している。	・デザインやデザインを主とする美術文化に興味・関心を持ち、主体的に表現方法を工夫しつつ完成度を追及して表そうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ポスターで伝える	・文字、形や色、イラストや写真などの構成を工夫し、伝えたいメッセージが端的に伝わり印象に残るポスターを制作する。	a:イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、表現する画材などの特性を生かし、計画を基に表す。 b:伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り
	ピクトグラム	・用いる場面や伝えたいイメージなどを考え、形や色彩の効果を生かして、ピクトグラム(絵文字)をデザインする。	a:認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて表す。 b:伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:伝えたい内容をピクトグラムで効果的に表す学習活動に主体帝に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り
2学期	キャラクターデザイン	・キャラクターの造形的な特徴、性格設定などを考え、形や色彩の効果を生かして、目的に合ったキャラクターをデザインする。	a:キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、魅力的なキャラクターを創造する。 b:伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り

	統一感のあるデザイン	・イベントを想定し、その内容を表す共通のイメージを図柄で表し、グッズの種類に合わせてデザイン企画する。	a:形や色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 b:統一感のあるデザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:統一感のあるデザインの学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り
3学期	生活を彩る模様	・使う場面を想定し、イメージに合う形や色彩、構成などを工夫して模様をデザインする。	a:自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし計画を基に表す。 b:自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練ったり鑑賞したりする。 c:自然物の特徴などを生かして模様をデザインする学習活動に、主体的に取り組む。	作品	作品 アイデアスケッチ	観察 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度